

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|--|---|-----------|--------------|----------|
| キャリア教育 I Career Education I | | 1年 | 前期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 1単位 | 演習 | 必修 | () | 特になし |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | 電話番号・メールアドレス | |
| (主) 松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任 | 授業中に指示します | 授業中に指示します | 授業中に指示します | |
| 授業の概要 | | | | |
| キャリア(職業と自分自身の関係、言い換えると職業人生)について考え、学ぶことを通して、職業適性理解力、コミュニケーション力、職業生活理解力、進路実現のためのスキルの基本を身につける。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見つけることができるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割等を理解し、働くイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があるのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤経済的・精神的自立の重要性について理解し、学生時代の課題を見出すことができるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。 | | | | |
| 学習の成果(学習成果) | | | | |
| (1)自分の職業生活をイメージし、準備段階に必要な課題を見出すことができる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 以上により、主体的に就職活動をして進路の実現を目指すことが、キャリア教育 I 段階での学習の成果である。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | オリエンテーション(松崎)。学生生活と受講の心構え(学務委員長)。学外研修ガイダンス(学生支援委員:30分)(クラス別指導20分) | | | |
| 第2回目 | コミュニケーション能力を伸ばす(大熊)。【課題1】(クラス別指導30分) | | | |
| 第3回目 | ボランティアから学ぶ(ボランティア担当:60分)。(クラス別指導30分) | | | |
| 第4回目 | レポートの書き方(川副)。【課題2】(クラス別指導なし) | | | |
| 第5回目 | 学ぶことと働くこと・社会が求める能力「社会人基礎力」・職業に関する理解と情報の収集(松崎)。(クラス別指導なし) | | | |
| 第6回目 | キャリアを伸ばす(松崎)。【課題3】(クラス別指導30分) | | | |

| | | | |
|---|--|-------|--|
| 第7回目 | 様々な組織の理解（1）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導30分） 【課題4】配布 | | |
| 第8回目 | 様々な組織の理解（2）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導30分） | | |
| 第9回目 | 様々な組織の理解（3）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導30分） | | |
| 第10回目 | 租税・年金について（外部講師）。（クラス別指導30分） 【課題4】回収 | | |
| 第11回目 | 健康セミナー（学生支援委員・外部講師）。（クラス別指導なし） 【課題5】 | | |
| 第12回目 | 経済的自立と金銭の管理（外部講師）。（クラス別指導なし） 【課題6】 | | |
| 第13回目 | 労働者の生活を守る法律や制度（外部講師）。（クラス別指導30分） | | |
| 第14回目 | 小論文・作文対策（川副）。（【課題7】（クラス別指導30分）。 | | |
| 第15回目 | キャリア・デザインの見直し（学務委員）。夢と自己実現。夏休みの宿題（キャリア教育Ⅱの【課題1】）の説明（秋山）。（クラス別指導40分）。 | | |
| 事前・事後学習 | ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、講話担当者や担任に質問に行くこと。 | | |
| 成績評価の方法と基準 | | | |
| | 評価の領域 | 割合 | |
| | | 評価の基準 | |
| | 授業参加態度 | 30% | 最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。 |
| | レポート | 70% | 10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。ノ切を過ぎたら減点する。 |
| | 調査報告書 | | |
| | 小テスト | | |
| | 試験 | | |
| | 発表内容（態度含む） | | |
| | その他 | | |
| 教科書と参考図書 | | | |
| 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房）。必ず購入すること。参考書は講義中に適宜指示する。 | | | |
| 履修上の留意点・ルール | | | |
| 積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。 | | | |